

論文審査の結果の要旨

論文提出者氏名 山泉実

山泉実氏の博士論文「句による非飽和名詞（句）のパラメータの補充」の審査結果について以下に報告する。

本論文の学術的意義については、以下の審査結果が得られた。

第一に、「飽和名詞」、「非飽和名詞」という意味理論において近年注目を集めている対照について、その本質を深く掘り下げ、多くの具体例によってきわめて洞察力に富んだ分析を提示している。第二に、名詞の飽和性と情報構造との関係に注目し、非飽和名詞句の解釈における語用論的制約を提示することに成功している。第三に、情報構造の理論を潜在疑問文の分析に適用し、名詞の飽和性との関連について有意義な考察を行っている。これらはいずれも創見に富み、意味理論の新たな展開を開くものである。

審査においては、特定の理論的枠組みへのより強いコミットメントが必要ではないかという指摘や、非飽和名詞のパラメータ補充は名詞修飾節ではなく変項の導入によって行われるのではないかという代替案も示され、非常に掘り下げた討議が行われた。また、一部の例文の判断や分析について批判もなされたが、これらは本論文の学術的価値をそこねるものではない。

以上、本論文は新たな観点から日本語における名詞句の意味論的・語用論的解釈について従来なされなかった貴重な観察、分析、理論化を提示した。学術的価値がきわめて高く、この分野における優れた研究成果として高く評価すべきものと判定する。

したがって、本審査委員会は博士（学術）の学位を授与するにふさわしいものと認定する。